

令和 6 年度第 2 回長浜市総合教育会議議事要点録

I 日 時 令和7年2月5日(水曜日)12時00分～14時00分

II 場 所 北郷里小学校 視聴覚室・2年生教室

III 出席者 【構成員】

浅見 宣義 市長	織田 恭淳 教育長	
前田 康一 委員	松宮 誠也 委員	兼子 貴絵 委員
前川 加奈子 委員	押谷 喜美子 委員	

【事 務 局】（教育委員会事務局）

内藤教育部長、山岡教育委員会事務局次長、
高山教育委員会事務局次長、為永教育委員会事務局管理監、
藤田教育総務課長、成田教育改革推進室長、馬淵教育指導課長、
森すこやか教育推進課長、塩津長浜南部学校給食センター所長、
大橋管理栄養士、奥村幼児課長代理、
小川幼児課主幹、中島栄養教諭

（未来創造部）

中嶋未来創造部長、村崎未来創造部次長、
服部政策デザイン課長代理、橘政策デザイン課副参事、
山崎政策デザイン課係長、池野政策デザイン課主査

IV 内 容

1 開会

2 市長挨拶

挨拶

本日の意見交換のテーマは「学校・園における食育について」である。

近年、偏った栄養摂取、朝食欠食など食生活の乱れや肥満・痩身傾向など、子どもたちの健康を取り巻く問題が深刻化している。

こうした問題を解決する重要な役割を果たすのが食育であり、学校においても積極的に食育に取り組んでいる。

成長期の子どもに対する食育は、子どもたちが一生にわたって健やかに生きていくことができるよう、その基礎をつくるためのものである。

本市の教育振興基本計画にも、「学校給食を通じて、子どもたちが「食」に関心をもち、栄養バランスや食の安全性等について正しい知識を身に付け、自分自身の健全な食生活について考えることができる力を養います。」また、「食文化や食に対する考え方が多様化する中で、様々な食材に関心をもち、食生活が豊かになるよう、学校・園、家庭、地域が連携しながら食育の推進に取り組めます。」とされている。

私が子どものころは、給食を食べ終わるまで帰れなかったが、今はそんな時代ではない。子ども達には食べることの大切さを楽しみながら学んで欲しいと思う。そして成長のために生きる力をつけて欲しい。

今回の会議では、子どもたちが健康的な食生活を送ることができるだけでなく、食に対する理解と関心が、より深まるにはどうすればよいか、楽しく、美味しく、そして学びを得られる給食・食育授業とは何かについて考えたい。よろしくお願いする。

3 意見交換

テーマ:「学校・園における食育について」

行政説明 ・学校給食の目的と役割、栄養管理

(すこやか教 ・特色ある給食

育推進課 長 ・ランチメッセージ

浜南部学校給 ・食に関する指導

食センター) ・残菜平均値と食品ロス削減啓発 などについて説明

給食準備の見学及び食育授業見学(児童と共に給食を食べながら)

【食育授業:生活リズムを整えよう(朝ご飯をたべよう)】

意見交換 説明や給食準備・給食を踏まえて、学校・園における食育についてどうあるべきか等

委 員 今回の食育事業について、子どもたちにはこのような授業を通じて伝えることができるが、保護者にどのように伝えるかが課題である。

食育授業でのケース(子どもが朝ご飯を食べずに学校に行く。そのことでいろいろな生活リズムが崩れる。)は、子どもだけの問題では無く、保護者がそのような環境を作っているのではないかとも思う。

また、外国籍の人で、夜更かし傾向にある文化の国もあるため、日本に長期的に暮らされる場合は、日本の文化を知ってもらうことも大切である。

その保護者に伝えるには言葉の壁もあると思うが、しっかり伝えていくべきである。

また、牛乳が残ってしまうという話があったが、牛乳はご飯に合いにくく、残してしまう子が多いと思うため、給食の時間に限らず、中休みの時間に飲んでも良いように柔軟に対応しても良いのではないかな。

事務局 保護者への発信に関しては、給食だより等を配布しているが、必ずしも全員が目を通していただいているわけではないと思う。

例えば、幼稚園では「今日はお箸の持ち方を教えたので家庭でも練習してください」「今日は野菜の勉強をしました」という報告を、キッズビューを通して伝えるようにしている。なお、外国籍の人は、魚が苦手な傾向にある。

委 員 食育に対して十分実施していただいていると思うが、家庭でどこまでしてもらえるか、環境が重要である。

しかし、働いている家庭が多い中で、子どもが喜んでくれるものを短時間でつくってしまうので、どうしても品数が少なくなってしまう。

また、野菜の値段の高騰もあり、様々な野菜が買えないことも現状としてある。

昔は家で野菜も作っていて、祖父母同居で品数も多いご飯が出てきていたが、現在は核家族も増えているので、遅い時間に夕飯を食べることが多くなっている。

大人になり社会に出て会食をする中で、好き嫌いがあると恥ずかしいと感じるので、今のうちに克服してほしいと思う。

食品ロスも気になる。自分に用意された分が少しでも食べられたら OK という成功体験を積むことで、嫌いなものが減り、食品ロスも減ると思う。

給食を早く食べた人は休み時間が長くとれるのか？

事 務 局 小中学校ともにクラス全体で給食時間を終えるので、昼休み時間に個人差はない。

委 員 自身が小学生の時は、給食を食べ終わるまで帰れなかったため、給食は恐怖の時間であった。

給食も勉強も楽しいことが基本であると思っており、今回観させていただいたクラスはみんな楽しそうに給食を食べながら、先生の話聞いていてとても良い雰囲気であった。中でも印象的であったのは、ほうれん草を残していた子が、「ほうれん草を食べるとパワーが出る」という先生の言葉で、自ら 1 口食べていたことである。改めて食育授業は大切だと感じた。

残食率が北部と南部で異なる理由と、牛乳を残した場合の取り扱いについて教えてほしい。

また、牛乳で字を書いた上に墨を落とすと、文字が白く浮かび上がるので、廃棄せざるを得ないなら、そういった活用も一つである。

事 務 局 牛乳は、残ったものは学校で廃棄になるので、給食センターでは把握していない。

学校にもよるが、200 人ほどの学校で、冬に1日40本、多いところでは 100 本の牛乳が残り、全て水道に流している。その理由は、パックを返却しないといけないためである。

また、アレルギー等の観点から、余った牛乳をお代わりすることや、持ち帰ることはできず、1 人 1 本のみである。子ども達の安全を最優先した考えである。

残食率が北部と南部で異なる理由については、北部は生徒数も少ないことから、配膳時間が南部に比べ短く、食べる時間が長くとれることも要因の一つではないかと思う。

- 事務局 小中学校ともに、申請すれば牛乳を停止できるが、小学校は給食が無償化であるため、申請件数は少ない。
- 他府県では、中休み時間に牛乳を飲むことを許可している事例もある。
- インフルエンザ等で急に多くの子ども達が欠席する場合、配膳する前のもので日持ちする食品は、後日に回すこともある。
- 委員 給食センターの方々は最大限の工夫や万全の注意を図ってできる限りのことはされていると感じた。
- 次にできることは、食育の意識を家庭にどのように持ち込むかであり、今日のような授業を参観日など保護者にも直接見てもらう、伝えられる機会があると良いと思った。
- 私も、冷たい牛乳が苦手な体質であるため、なぜ牛乳が残るのか、アンケートを取っても良いのではないか。
- また、生魚は食べられるが、加熱された魚を食べられない子どもが多いと聞いたことがある。
- その要因としては、肉より魚の価格は高く、1匹あたりの食べられる量も少ないことから、家庭の食卓に並ぶ頻度が少ないためかもしれない。
- 子どもは、初めて食べてみておいしかった経験があると今後も食べてくれるが、最初が苦い、おいしくないという印象だと今後も食べてくれない。
- 生産者と一緒においしい魚を食べるイベントのようなものを、学校給食の食育と関連付けてできると良いと思う。生産者にとっても残食は課題であるので、是非一緒にできたら。
- 委員 昔よりも落ち着いて給食を食べている児童が多い印象を受けた。また、食育の授業内容も良く、児童たちもしっかりと話を聞き、自分の意見も言えて素晴らしいと思った。
- 牛乳の問題だが、私自身は白米と牛乳と一緒に食べることに抵抗はない。これは給食で培ったものであり、給食の良さだと思う。
- 市長 児童の食べている姿も、配膳の姿も良かった。挨拶も大きな声で、良いクラスだと思った。
- 栄養教諭のペープサートもとてもわかりやすかったと思う。絵本を使うとか、動画などの映像で指導することも良いと思うし、教材として使用しているものを保護者にも見てもらえると良い。いかに家庭に浸透させるかが大切であり、親子で共有できると良い。
- 食べ残しについて、大きな課題である。特効薬があるわけではないが、牛乳、魚、野菜が多いことなど、その現状を親にも知ってほしいと思う。
- アレルギー等の様々な配慮が必要であり、ご苦労があると思うが、引き続きよろしく願います。

教 育 長 給食の姿がクラスの姿。今日を迎えるまで、先生の大きな努力があったと思う。とても良い雰囲気のクラスであった。

様々な学校改革があるが、給食も含めて、うまく改革できると良い。

家族で「いただきます」の意味を子どもに伝える。命をいただくことの大事さをわかっている子は、ご飯をいただくことがどのようなことかしっかり染みついている。

なかなか核家族の中でそこまで教える余裕がないかもしれないが、食育の授業などを通し、親子で学んでもらえればと思う。

食育は命のもとになるので、学校や給食センターだけに任せるのではなく、みんな考えていきたい。

4 その他 事 務 局

今年度の総合教育会議はこれで終了。

5 閉会

以上